

基金の状況

区分	基金残高	前年比
一般会計	137億3,382万円	11億1,112万円
特別会計	27億3,625万円	-2億170万円
事業会計	2,077万円	7万円
合計	164億9,084万円	9億949万円

市債の状況

区分	市債残高	前年比
一般会計	216億6,827万円	20億5,934万円
特別会計	2億7,517万円	5,815万円
事業会計	61億2,058万円	3億7,550万円
合計	280億6,402万円	24億9,299万円

特別会計

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
太陽光発電事業特別会計	7,028万円	6,821万円	2,833万円
鉄道経営対策事業特別会計	4,071万円	4,071万円	4,071万円
国民健康保険（事業勘定）特別会計	54億7,685万円	48億503万円	46億3,829万円
国民健康保険（診療所勘定）特別会計	6,562万円	5,797万円	5,796万円
後期高齢者医療特別会計	8億7,739万円	8億7,493万円	7億8,993万円
介護保険（保険事業勘定）特別会計	50億4,019万円	44億6,683万円	42億5,089万円
戸別浄化槽事業特別会計	1,018万円	1,003万円	618万円
農業集落排水事業特別会計	7,783万円	7,679万円	6,704万円
企業用地整備事業特別会計	5億2,961万円	5億1,621万円	5億1,471万円
富弘美術館事業特別会計	3億8,718万円	2億2,761万円	2億2,760万円
競艇事業特別会計	1,818億7,937万円	1,598億2,001万円	1,575億2,650万円

事業会計

会計名	収益（収入）		費用（支出）		
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額	
簡易水道事業	収益的収入・支出	1億3,579万円	1億3,715万円	1億3,141万円	1億1,878万円
	資本的収入・支出	6,570万円	6,050万円	9,307万円	8,662万円
公共下水道事業	収益的収入・支出	7億8,442万円	7億8,494万円	6億9,347万円	6億7,736万円
	資本的収入・支出	14億6,684万円	11億8,200万円	17億3,260万円	14億3,716万円

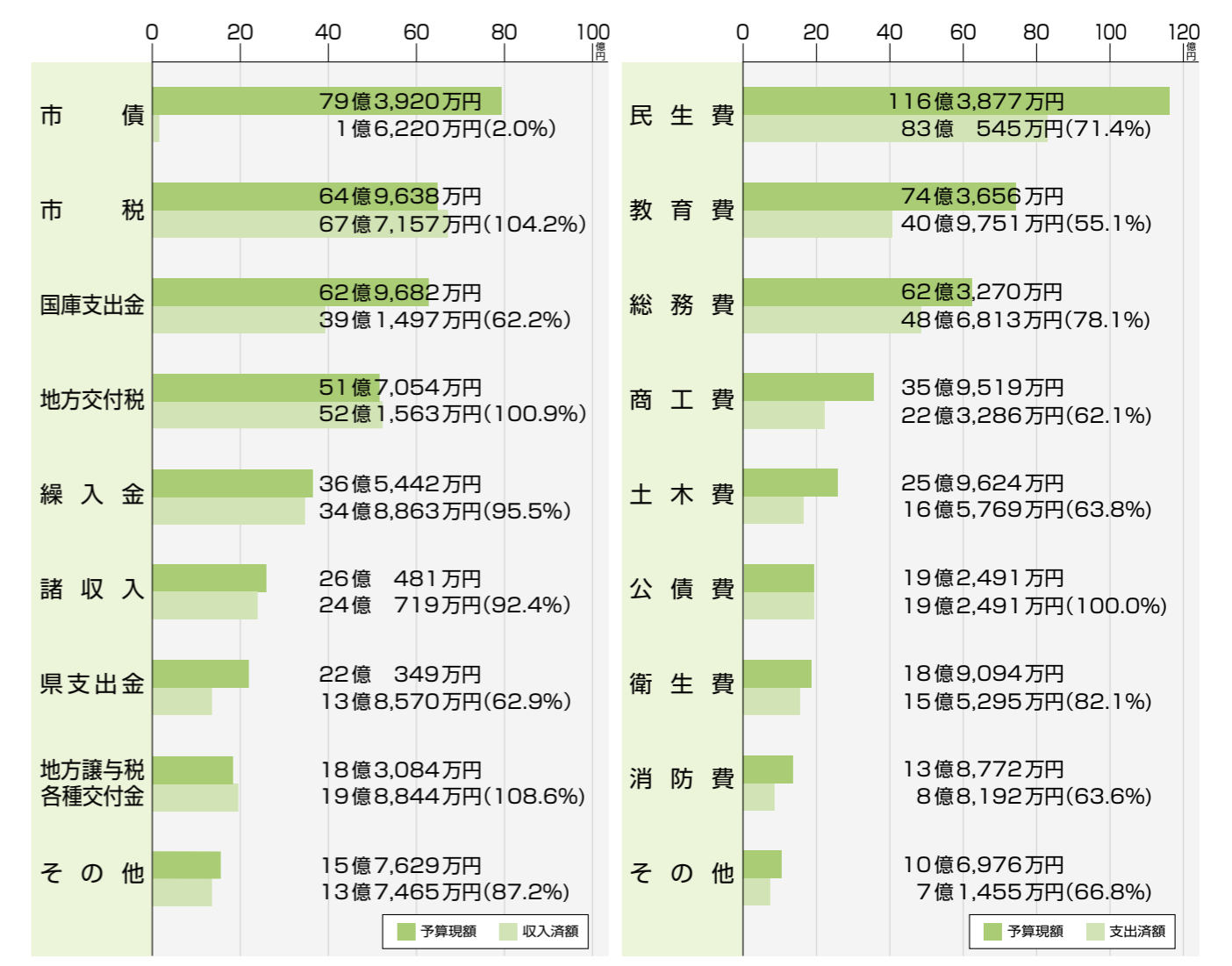
用語説明（一般会計） ※右のグラフ順に掲載しています。

歳入		歳出	
市債	道路や施設などの整備に充てるために、国や金融機関から借りたお金	民生費	住民の一定水準の生活と安定した社会生活を保障するために必要な経費
市税	市民の皆さんや市内に事業所を持つ法人などに納めていただいた税金	教育費	教育委員会、幼稚園、小・中学校、社会教育などの全ての教育関係経費
国庫支出金	特定の公共事業などに対して国から交付されたお金	総務費	市の全般的な管理事務費、地方公共団体の共通経費、選挙費などの経費
地方交付税	財政状況などに応じて国から交付されたお金	商工費	商工業の育成や観光の振興などに要する経費
繰入金	一般会計、特別会計、基金の間で、相互に資金運用をするもの	土木費	道路や河川、公園などの社会的資本整備のための経費
諸収入	競艇事業収入や雑入など、収入の性質により他の収入科目に含まれない収入	公債費	市債の元金・利子や一時借入金の利子を支払うための経費
県支出金	特定の公共事業などに対して県から交付されたお金	衛生費	環境保全、疫病予防、健康増進などの経費
地方譲与税・各種交付金	国税や県税として徴収したものを国や県が市に譲与または交付するもの	消防費	消防・火災予防や水防などの災害対策のための経費
その他	繰越金、使用料、手数料など	その他	議会費、労働費など

令和7年度下半期

市の財政状況を公表します

市では、毎年12月と6月に財政状況の公表を行っています。今回は、令和8年3月31日までの歳入・歳出についてお知らせします。なお、令和7年度決算状況は、決算が議会に認定された後、本紙10月号で公表します。
 財政局課 ☎(76)0963



収入状況

最も予算額が大きいのは市債で、令和7年度は大型公共工事実施に伴う借入れを行うため大きく増えています。多くの事業については事業完了後の出納整理期間に借入れを行うため、現時点では執行率が2%となっています。
 次に大きいのは市税で、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税があります。

支出状況

最も予算額が大きいのは民生費で、児童手当や医療費助成、障がい者の自立支援など、福祉関係の事業費が含まれます。
 次に大きいのは教育費で、小・中学校や図書館、公民館、博物館などの管理運営、スポーツ大会の開催など、学校教育や社会教育、スポーツ振興関係の事業費が含まれます。